



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月2日

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千葉 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,753	3.9	592	△17.3	586	△19.2	702	52.1
27年3月期第2四半期	14,204	12.0	716	6.3	726	7.2	462	8.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	62.33	-
27年3月期第2四半期	40.98	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,685	5,423	39.6
27年3月期	12,760	4,978	39.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,423百万円 27年3月期 4,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	18.00	18.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	23.00	23.00

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 期末配当金の内訳は、以下のとおりであります。

平成27年3月期 普通配当 17円00銭 記念配当 1円00銭

平成28年3月期 普通配当 23円00銭

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,589	10.3	1,530	7.0	1,530	5.0	1,289	40.2	114.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	11,280,000株	27年3月期	11,280,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,476株	27年3月期	2,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	11,277,524株	27年3月期2Q	11,277,524株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、名目賃金の伸び悩み等から個人消費が弱めの動きをしているほか、設備投資も好調な企業業績を背景に回復しているものの、依然として力強さに欠けるものとなる等、全体として足踏み状態で推移しました。為替水準は、米国の利上げ観測を受けて一時13年ぶりに1ドル125円台を付けたものの、その後は新興国経済の減速を受けて、米国の利上げ観測が後退したこと等を背景に、四半期末にかけて1ドル120円前後で推移しました。

医療を取り巻く環境につきましては、2020年（平成32年）にプライマリー・バランスの黒字化を目指す観点から、経済財政諮問会議において、平成28年4月に実施される診療報酬の改定について医療費の適正化や地域間格差是正に関する議論が行われたほか、平成29年4月に実施が予定されている消費税率の再引き上げに向け、医療費に係る消費税の取り扱いについて、医療機関の負担軽減を求める動きが活発化してまいりました。

このような情勢のもと当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は14,753,373千円（前年同期比3.9%増）となりました。営業利益は、円安による輸入商品の仕入価格上昇や、人員増加による人件費の増加により592,001千円（前年同期比17.3%減）、経常利益は586,939千円（前年同期比19.2%減）となりました。四半期純利益は、保有する株式の一部を売却したことで投資有価証券売却益476,843千円が特別利益に計上されたことにより、702,984千円（前年同期比52.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、心臓ペースメーカーやアブレーション（心筋焼灼術）カテーテル類等の主力商品の販売数量が増加し、当第2四半期累計期間の売上高は12,194,821千円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は1,704,281千円（前年同期比4.5%増）となりました。

② 虚血事業

輸入総代理店として取り扱っている自動造影剤注入装置「ACIST」やエキシマレーザ血管形成システムの消耗品類の販売が堅調に推移したものの、円安の影響によりこれら輸入商品の仕入価格が上昇したため、利益率が低下することとなりました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,225,871千円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は626,455千円（前年同期比12.0%減）となりました。

③ その他

前年同期にあった大型機器の販売が、当第2四半期累計期間にはなかったことから、当第2四半期累計期間の売上高は332,680千円（前年同期比39.4%減）、セグメント利益は43,891千円（前年同期比24.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ1,042,082千円増加し、12,785,484千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却により、現金及び預金が842,324千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ117,656千円減少し、899,840千円となりました。これは主に、保有する株式の一部を売却したことで、投資有価証券が242,643千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ924,425千円増加し、13,685,325千円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ499,510千円増加し、7,934,248千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が390,719千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ19,565千円減少し、327,671千円となりました。これは主に、長期借入金12,886千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ479,944千円増加し、8,261,920千円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ444,481千円増加し、5,423,404千円となりました。これは主に、剰余金の配当により202,995千円減少したものの、四半期純利益により702,984千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は39.6%（前事業年度末は39.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得632,626千円、投資活動による資金の獲得426,527千円、財務活動による資金の支出△205,045千円等により、前事業年度末と比較して842,324千円増加して4,135,196千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益1,040,446千円に加え、仕入債務の増加390,719千円、売上値引引当金の増加27,953千円等の増加要因があった一方、投資有価証券売却益△476,843千円、法人税等の支払△232,947千円等の減少要因があったことから、632,626千円の資金の獲得（前年同期は153,265千円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得により△77,111千円、差入保証金の差入れにより△38,943千円の支出がありましたが、投資有価証券の売却により559,647千円を獲得したことから、426,527千円の資金の獲得（前年同期は△65,784千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入れにより30,000千円を調達する一方、配当金の支払△202,026千円及び長期借入金の返済△32,890千円等があったことから、△205,045千円の資金の支出（前年同期は△151,357千円の支出）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の売上高は、電極カテーテル類や大型機器等の販売が目標に届いていないこと等により、当初の計画を6.2%下回ることとなりました。加えて、為替相場が当初想定していた1ドル120円に比べて円安で推移したこと等もあり、各段階利益も、当初の計画を下回ることとなりました。

通期の業績予想については、第3四半期以降において、冷凍アブレーションカテーテルの販売先が拡大出来る見通しが立つ等、カテーテル類の販売増加が見込めることや、大型機器の受注が見込まれることで、概ね当初の計画通りの売上高を達成出来る見通しであります。さらに、メーカーとの連携強化によるインセンティブ獲得や、全社的な経費節減の取り組みにより、利益面でも概ね当初の計画通りになるものと見込んでおります。従って、平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年7月31日公表の「平成28年3月期 第1四半期決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,292,872	4,135,196
受取手形及び売掛金	7,246,566	7,315,327
商品	945,788	1,009,027
繰延税金資産	122,000	145,000
その他	137,074	181,831
貸倒引当金	△900	△900
流動資産合計	11,743,401	12,785,484
固定資産		
有形固定資産	414,833	423,421
無形固定資産	48,228	59,188
投資その他の資産		
投資有価証券	368,768	126,124
差入保証金	116,596	155,188
繰延税金資産	58,000	83,000
その他	11,071	52,918
投資その他の資産合計	554,436	417,231
固定資産合計	1,017,497	899,840
資産合計	12,760,899	13,685,325
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,593,794	6,984,513
1年内返済予定の長期借入金	59,116	69,112
未払法人税等	267,300	400,000
賞与引当金	194,720	204,242
売上値引引当金	-	27,953
その他	319,806	248,427
流動負債合計	7,434,738	7,934,248
固定負債		
長期借入金	84,240	71,354
退職給付引当金	168,655	169,334
役員退職慰労引当金	78,431	78,902
その他	15,910	8,081
固定負債合計	347,237	327,671
負債合計	7,781,975	8,261,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	4,261,636	4,761,625
自己株式	△547	△547
株主資本合計	4,920,277	5,420,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58,645	3,138
評価・換算差額等合計	58,645	3,138
純資産合計	4,978,923	5,423,404
負債純資産合計	12,760,899	13,685,325

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,204,268	14,753,373
売上原価	11,803,166	12,378,745
売上総利益	2,401,102	2,374,628
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	589,965	625,899
賞与引当金繰入額	204,580	204,242
役員退職慰労引当金繰入額	3,762	3,770
退職給付費用	13,024	20,871
その他	873,552	927,843
販売費及び一般管理費合計	1,684,884	1,782,627
営業利益	716,217	592,001
営業外収益		
受取利息	175	196
貸倒引当金戻入額	1,400	-
デリバティブ評価益	11,915	-
その他	3,534	3,216
営業外収益合計	17,025	3,413
営業外費用		
支払利息	391	330
為替差損	6,454	5,075
デリバティブ評価損	-	3,069
営業外費用合計	6,846	8,475
経常利益	726,397	586,939
特別利益		
投資有価証券売却益	-	476,843
特別利益合計	-	476,843
特別損失		
固定資産除却損	356	45
事務所移転費用	-	23,290
特別損失合計	356	23,336
税引前四半期純利益	726,040	1,040,446
法人税、住民税及び事業税	299,738	358,979
法人税等調整額	△35,903	△21,517
法人税等合計	263,834	337,462
四半期純利益	462,206	702,984

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	726,040	1,040,446
減価償却費	42,926	52,769
のれん償却額	4,192	1,397
デリバティブ評価損益(△は益)	△11,915	3,069
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,400	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,359	9,521
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,022	678
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,762	470
売上値引引当金の増減額(△は減少)	105,681	27,953
受取利息及び受取配当金	△245	△275
支払利息	391	330
為替差損益(△は益)	△3,183	11,783
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△476,843
固定資産除却損	356	45
売上債権の増減額(△は増加)	△524,554	△68,760
たな卸資産の増減額(△は増加)	△394,061	△67,043
仕入債務の増減額(△は減少)	543,450	390,719
未払消費税等の増減額(△は減少)	36,176	△55,760
その他	△19,832	△4,879
小計	501,448	865,623
利息及び配当金の受取額	244	275
利息の支払額	△441	△325
法人税等の支払額	△347,987	△232,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,265	632,626
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,198	△77,111
無形固定資産の取得による支出	△30,876	△17,402
投資有価証券の売却による収入	-	559,647
差入保証金の差入による支出	△349	△38,943
差入保証金の回収による収入	655	351
その他	△14	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,784	426,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	80,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△61,747	△32,890
配当金の支払額	△168,584	△202,026
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,026	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,357	△205,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,183	△11,783
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,693	842,324
現金及び現金同等物の期首残高	3,186,862	3,292,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,126,169	4,135,196

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。